

## 東日本大震災から6年

# 首都直下地震に備え 今できる4つの対策

地震には、日頃の備えが大切です。過去の大震災の教訓を思い起こし、地震に備えた取り組みを進めましょう。

申請・問合せ

防災課 ☎内線492

### 揺れを感知して電気を止める器具（感震ブレーカー等）を設置

過去の大規模地震時に発生した火災で、原因が判明している6割以上が電気による火災です。地震発生後の電気火災を防ぐためには、強い揺れを感知したときにブレーカーやコンセント等の電気を自動的に止める「感震ブレーカー」等の設置が有効です。

設置している方の割合

8.6%

### 家具・家電等を固定し、転倒・落下等を防止

近年の地震被害では、負傷者の3～5割の方が、たんすや本棚等の家具の転倒・落下等で負傷しています。身の安全を守るために、家具類の転倒・落下防止対策をしておきましょう。

固定している方の割合

29.8%

### 食料や飲料水を3日以上備蓄

災害発生後は、電気・ガス・水道・下水道が使用できなくなったり、食料等の流通が停止したりする可能性があります。自宅で生活続けるために、3日以上の食料・飲料、携帯トイレ等の備蓄を進めましょう。

備蓄している方の割合

38.5%

### いっとき 一時集合場所・広域避難場所・避難所等を確認

確認している方の割合

35.4%

災害が発生した際に避難する一時集合場所・広域避難場所・避難所等は町会ごとに設定しています。荒川区ホームページ、荒川区防災地図、わたしの便利帳、荒川区防災アプリ（右バーコード参照）等で確認しておきましょう。



▲App Store  
用バーコード



▲Google play  
用バーコード

### 家具類の転倒・落下防止器具、感震ブレーカー等の設置費用の一部を助成しています

対象 区内在住の方

※助成内容・申請方法等の詳細は、荒川区ホームページをご覧ください

※数値は第41回荒川区政世論調査（報告書）より引用

### 東日本大震災の教訓を生かして 荒川区長・特別区長会会長 西川太一郎

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から6年が経過しました。多くの尊い命が失われ、甚大な被害が生じたことに、改めて衷心より哀悼の意を表します。また、今なお避難生活を送っておられる多くの方に、心よりお見舞い申し上げます。区では、東日本大震災の教訓を生かして、さまざまな防災対策を進めています。今後、更なる充実を図り、区民の皆様の安全・安心のため、職員一丸となり、防災対策に取り組んで参ります。

### 東日本大震災6周年追悼式当日の弔意について

区では、3月11日(土)の東日本大震災6周年追悼式（政府主催）当日に、区役所本庁舎等に半旗を掲揚するとともに、区主催行事等において地震発生時刻（午後2時46分）に合わせ1分間の黙とうを行い、哀悼の意を表します。皆様のご協力をお願いします。

問合せ 総務企画課 ☎内線2211